

緊急用支援メガネ 600 本を石川県眼科医会に送付

「令和 6 年能登半島地震」に被災し、メガネをなくして不自由にされている被災者に向け、計 600 本の緊急用支援メガネを送付しました。

今回の支援活動は、(公社)日本眼科医会(白根雅子会長)の「眼科災害対策本部」及び石川県眼科医会(牛村繁会長)からの協力要請に基づき、正副理事長会議で対応を検討。緊急対応が必須と判断し、(公社)東京都眼科医会(福田敏雅会長)の大規模災害対策事業に協力した、東京眼鏡販売店協同組合(山崎親一理事長)が、2023 年に製造し保管を委託されていた大規模災害用支援メガネを、両団体の了承のもと、利用させていただきました。

支援品は、エリア活動委員会(石川県担当)の委員を務める時計・宝石・めがねのハルタの春田善裕氏を通じて、1 月 12 日夕、同眼科医会の牛村会長に届けました。

支援品(老眼鏡 350 本、近視用 250 本) 合計 600 本

▽老眼鏡

+1.50、+2.00、+2.50 各 60 本

+3.00、+3.50 各 85 本

▽近視用

-2.00、-3.00、-4.00、-6.00、-8.00 各 50 本



被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。皆様のご健康と一刻も早い復興をお祈り申し上げます。なお、日本メガネ協会では、被災された小売店会員に少しでもお役に立てればとの思いからお見舞金をお贈りさせていただきました。

3 月 14 日公開

初の実技系プログラムのリカレント教育を公開！ 「両眼視下で屈折測定例紹介」(実機を用いた演習)

第三弾目のリカレント教育は、初の実技系プログラム、テーマは「両眼視下での屈折測定例紹介」(実機操作を用いた演習)。講師は、めがね技術コンサルタント/学校法人東京眼鏡学園・東京眼鏡専門学校非常勤講師の内田豪氏が務められ、自動型レフラクターヘッドのコントロールボックスの画面を専用のソフトウェア(RT-6100 CB for Windows)を駆使し、測定時のポイントや間違いやすい点などについて、分かり易く解説しています。

受講方法は、眼鏡作製技能士会員のマイページにアクセスし、一覧メニューから〈リカレント教育はこちらから〉を選択し、プログラムを選択してご受講ください。

会員向け公式サイト
一般社団法人 日本メガネ協会
<https://j-s-a.jp/>



一般社団法人日本メガネ協会